

たくさんの優しい眼差し

仲嶺 真弓

秋の収穫、芋ほりに向かう子どもたちを見る優しい眼差し。福祉委員の方が道路わきの花壇の手入れをしてくれていました。職員が挨拶をすると、「子どもたち、一緒に花を植えませんか？」と声を掛けてくださりました。福祉委員の方のお言葉に甘えて、27日（水）5歳児の子どもたちが福祉委員の方と一緒に花を植えました（表紙写真ご覧ください）。道路を飾る花の変化に、子どもたちと一緒に季節の流れを感じられたらと思います。28日（木）食を考える日。今年も保護者の森田さんが、子どもたちのために魚の解体ショーをしてくださいました。森田さんにこの職業についての思いを聞いたことはないのですが、魚をさばく姿はシンプルに格好いい。丁寧にさばきながら、子どもたちにかけてくれる言葉と眼差しに、魚に対する愛情さえも感じます。“人は命をいただき生きている”そのことを子どもたちが感じられる機会に力を貸していただけたことに感謝します。

10月から、つばさ文庫も再開しています。11月からは、4・5歳児の本の貸し出しも再開します。お家でも子どもと一緒に絵本にふれる時間を楽しんでいただけたらと思います。文庫の方には、“食を考える日”に向けて、食に関する絵本をセレクトしてもらいました。「ぐるぐるカレー」「どんぐりだんご」「れんこんのあな」「あじ」「きりみ」「はからはじまるカルシウムのはなし」「おすしやさんにいらっしゃい」「食べているのは生きものだ」「くさる」などなど…他にも数冊。題名を聞いただけで、内容を知りたくなる絵本の数々。各クラスで楽しませていただきました。

ひきつづき、感染拡大防止へのおねがい

緊急事態宣言が解除され、運動会の開催、懇談会の再開などの見通しもたち、ほっと胸をなでおろしているところです。けれど、みなさんご承知のとおり「新型コロナウイルス」への脅威が全くなかったわけではありません。

ひきつづき、しばらくは園からの願いは続きます。どうぞ、子どもたちの安全で豊かな保育園での毎日を守るために、ご理解とご協力をお願いします。

◎発熱の翌日は、24時間様子をみてください。（高熱や感染性疾患が疑われる時は兄弟児も休み協力お願いします）

◎下痢やひどい咳など、いつもと違う症状があるときにもお休みしてください。

◎ご家族の体調不良等や濃厚接触者に該当などの状況は、必ずお伝え下さい。

さかなの解体ショー(10/26)

